

令和6年8月吉日

リハビリテーション科担当者様

愛媛労災病院中央リハビリテーション部

## 「スポーツ現場での腰痛（脊椎分離症を中心に）」

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、愛媛労災病院中央リハビリテーション部では、腰痛治療で御高名な成田崇矢先生を講師にお招きして、研修会を開催することとなりました。

今回の研修会は「スポーツ現場での腰痛（脊椎分離症を中心に）」をテーマに、スポーツ現場において発生する腰痛、特に脊椎分離症に焦点を当てて、理学療法の専門的な知識や技術を高め、参加者がアスリートの健康とパフォーマンスの向上に貢献できるようにすることを目的に幅広い内容でお話しいただく予定です。成田先生の知識と技術を学ぶ貴重な機会ですので、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に理学療法士、作業療法士の皆様に広くご案内していただけると幸いです。何卒よろしく願い申し上げます。

### 記

【研修会名】 スポーツ現場での腰痛（脊椎分離症を中心に）

【研修形態】 座学および実技

【日時】 令和6年10月6日（日） 9:00～15:00

【会場】 愛媛労災病院 リハビリテーション室

【講師】 成田 崇矢 先生

桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツテクノロジー学科教授

プロフィールの詳細は添付資料をご参照ください。

【受講料】 ~~10,000~~円 → 5,000円

【定員】 25名 ※定員なり次第締め切ります。

【申し込み締め切り】 令和6年9月1日（日）

【申し込み方法】

QRコードまたはURLからフォーム画面へ進み、必要事項の記入をお願いします。

受講の可否については、折り返し連絡します。

【問い合わせ】

愛媛労災病院 中央リハビリテーション部

〒792-8550 愛媛県新居浜市南小松原町13番27号

電話：(0897)33-6191 内線6213 大久保

メール：[reha.rousai.ehime@gmail.com](mailto:reha.rousai.ehime@gmail.com)

申込QRコード



申込URL

<https://forms.gle/hbNcvokhQ7QR5XYf7>

## 講師プロフィール

氏名：成田 崇矢

生年月日：昭和 50 年 6 月 12 日

桐蔭横浜大学大学院 スポーツ科学研究科 教授



### —学歴—

H9 群馬大学医療技術短期学部理学療法学科 卒業

H14 群馬大学医学部保健学科理学療法専攻 卒業

H22 筑波大学人間総合科学研究科博士前期課程（体育学） 修了

H25 早稲田大学スポーツ科学研究科博士後期課程（スポーツ科学）修了

### —職歴—

H9.4～H12.3 高德会 上牧温泉病院 理学療法士

H12.4～H20.3 龍邦会 東前橋整形外科 理学療法士

H20.4～H21.3 つくば国際大学医療保健学部理学療法学科 助手

H21.4～H23.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 助教

H23.4～H25.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 講師

H25.4～H27.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 准教授

H27.4～H31.3 健康科学大学健康科学部理学療法学科 教授

H31.4～ 現職

### —主なトレーナー実績—

2009（ローマ）、2011（上海）、2013（バルセロナ）、2017（ブダペスト）、2019（韓国） 世界水泳選手権大会 飛込競技日本代表トレーナー

2016 リオオリンピック 飛込競技日本代表 トレーナー帯同

2016～2018 WJBL 山梨クィーンビーズ アスレティックトレーナー

2021 東京オリンピック 飛込競技日本代表 トレーナー帯同 他

資格：理学療法士、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（JSPO-AT）、全米公認ストレングス&コンディショニングスペシャリスト（NSCA-CSCS）

### 委員ほか：

（公財）日本水泳連盟医事、科学委員、

（公財）日本オリンピック委員会 強化スタッフ（医・科学スタッフ）

（一社）アクティブライフ・マネージメント代表理事

所属学会：日本腰痛学会、日本整形外科スポーツ医学会、日本臨床スポーツ医学会、日本徒手理学療法学会（評議員）、日本アスレティックトレーニング学会、日本スポーツ理学療法学会（評議員）

著書：「成田崇矢の臨床 腰痛：運動と医学の出版社」「脊柱理学療法マネジメント：メジカルビュー社」「腰痛のプライマリ・ケア：文光堂」「腰痛の病態別運動療法：文光堂」「秒速で体が柔らかくなる 5秒筋膜ゆらし：冬樹舎」「腰痛がスーと消える：小学館」「肩こりを治せば、老いも止められる：高橋書店」など多数。